自己紹介

　　中国税理士会から派遣されてまいりました。税理士の畳と申します。

隣に居ますのも、同じく税理士の○○です。　よろしくお願いします。

今日は、皆さんと対話式の授業をしたいと思います。

皆さんと意見を交換しながら授業を進めていきますが一つ問題があります。

私、ちょっと、耳の聞こえが悪いんです。

なので、皆さんの発言を皆さんの席の方に行って意見を聞きに行きますので、了解をお願いします。

　　　　　　　雑談

　　　皆さんが、社会人になったら、所得税とかの税を、自分が直接納付することがあると思います。

　　　税の事は、私は分らないので払わない　というのは通用しません。

　　　私の考えですが、どうせ払うなら、税の事を理解して払った方が良いと思います。

　　　そして、税が高いか安いか、あるいは、ある税が必要か不必要か　といった事を判断する「物差し」は、しっかりと持って頂きたいと思います。

　　　というのも、最近、新税、新しい税が、チョクチョク出来ています。

新税は、人ごとではありません。皆さんのほとんどの家庭で、この６月に発生しています。

その話しは、最後に、時間が余ったら、お話しをします。

　　　前置きはこれくらいにします。

今日は、「税って何だ」という事を理解してもらうための授業をやりたいと考えています。

皆さんが自分で考えて、発言していただくと、皆さんの税に関する「物差し」が磨けますので、どんどん発言をしていただきたいと思います。

それから、租税教室ワークシートを配っています。

自分が考えた事、思った事などを自由にメモしてください。

このワークシートは、・・・・・・　　提出、　先生の指示

　　　それでは、いきなりですが、お配りしている「問題」の説明をします。プリントを見てください。

SOZEI島という島に、SさんOさんZさんEさんIさん　の5人が住んでいますが

この島に住む住人は、「衣・食・住」と「幼稚園から大学までの教育費が無料」というサービスを受けることができます。

生活に必要な、衣服と、食事と、住宅に教育費が無料というサービスです。

ただし、このサービスを受けるために、島民５人は、島全体の責任として、5年に1回、５００万円のサービス料を払う必要があり、5人が集まって話し合をしました。　　　　　　　　　　　　　　　　　8

プリントの下の方を見てください。島民5人の年収や資産の保有状況がそれぞれ違います。

Sさんは50歳で会社社長、年収3700万で預金3700万と4000万の不動産を保有し、リッチです

Oさんは６0歳で自営業、年収300万、預金が0で、借金が5000万あります

Zさんは20歳でｻﾗﾘｰﾏﾝ年収200万、預金が300万で、時価１000万円の絵画を相続してます

Eさんは40歳でｻﾗﾘｰﾏﾝ年収700万、預金800万で、5000万のクルーザーを購入しています

Iさんは70歳で年金暮らし、年収100万円で預金２00万と不動産を1000万保有しています

こういった5人が集まって話し合いをしました。

島のリーダーが**「５人がそれぞれ100万円ずつ出そう**」と提案しましたが、

5人全員の賛成が得られず、協議の結果、次のように決まりました

リーダーの意見に賛成の人は、100万円納める。

リーダーの意見に反対の人は、０～５００万円の範囲で自分で納付額を決める。

つまり、0円、払わないという選択肢がありますし、500万全部払っても良い。

そして、誰がいくら納付したかは、分らない仕組みで納付する。

**と言う事で、皆さんには、いくら納めるか、　金額を考えていただきます。**

今から、皆さんに金額を書くカードを配ります

　　・・・・・・・・・・・　**＜　カ　ー　ド　を　配　る　＞　・・・・・・・・・・・　　補助者は、板書を開始**

カードには「SOZEI」のアルファベットのいずれか１文字が記載してあります。

カードに書いてあるアルファベットの人の立場になって、いくら納めるか、金額を決めて、カードに書いてください。

* ・　　　・　　　・

リーダーが提案した100万円を払うか、それとも違う金額にするか考えてください。

ここは、周りと相談すると、答が偏ってしまいますので、周り人と話さないでください。

正解というのはありませんので、相談せず、自分１人の考えで、決めてください。

　　問題に書いてある設定条件だけで考えてください。

* ・　　　・　　　・

島民５人の所得・資産などの状況がそれぞれ違います。

所得の多い人、少ない人、不動産を持っている人、クルーザーを買った人、絵画を相続した人、

色々な状況の人がいます。

そのあたりを比較しながら考えてください。

・・・・少し黙る・・・

　　はい、それでは、金額をカードに書いてください。　悩まなくて良いですよ　　　　　　　　　１2

　　書いたら、カードは裏向きにして、前の人に回してください

　　　　　・・・・・・・・・・　＜　回　収　　→　　即　、　板　書　＞　・・・・・・・・・・

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１5

今、皆さんの答えを板書しているところですが。

黒板の皆の答えを見ると、何か思うこと、何か感じることがあると思います。

その、思ったことや感じた事をいっぱい発言してもらいたい授業です。

正解とか不正解はありません。なので、安心して、思ったこと発言していただきたい。

　ここからは、周りの人と相談しても良いですよ、相談自由

自分の納付金額を決めた理由を説明する発言

　例えば、どうゆう考え方で100万円と書いたか、

　どういう理由で0円と書いたか

　　　　　＊苦しいけど、割り勘は平等である。(応分の負担)

＊苦しいけど、迷惑をかけたくない（みんなのために）

＊払いたいけど払えない。ごめんなさい。生活ができない。老人は勘弁

**発言と反対の意見の生徒に配慮する**

友達が出した金額について、そうなんだ！と感じたり、気付いた事、

それとも、なんで？と疑問に思ったこと

　　　　　＊５００万払う人すごい。感謝します。社長、太っ腹、

　　　　（所得とか資産の状況の違いから、思ったこと）

　　　　　　　　・・・・・

　　　　５００万円納付の人に言いたいこと、ありませんか？

　　　　　＊お金持ちの人にたくさん払ってもらいたい。＜全部を出すの？＞

　　　　０円の人に言いたいこと、ありませんか？

＊ゼロ円の人、自分も利用するんだからゼロはない、ずるい、＜苦しいから＞　　　　20

・・・・・・・・・・・

　　色々な意見が出ましたが、

所得とか資産とか立場の違いで、人は色々な考え方になる。　　ということが言えます。

 そうですよね、もし、違うカードをもらったら、払う金額が変わりますよね。

Sさんのカードをもらった人がIさんのカードに変わったら金額が変わりますよね。

同じ人でも、立場が変われば、考え方が変わる。それが自然なんです。

それでは、黒板の皆が出した金額を分析しながら考えてみましょう。

まず、金額を１００万とした人の人数を数えてみたいと思います。

　○人でした。・・・１００万円は賛成した人の数　賛成した人が○人中○人

　【反対多数】

　反対が多数になりました

つまり、100万ずつ出そうというリーダーの意見が否決されたということになります」

みんなが１００万ずつ出そうという「割り勘」という、シンプルで平等な方法が支持を受けなかったということになります。

5人みんなが100万ずつというやり方、正真正銘、平等な方法ですよね。

なぜ支持されないのでしょうか。

その理由を考えるために、島民５人のどの人の賛成が多く、どの人の賛成が少ないのかを

皆さんが実際に出した数字で考えてみましょう

【賛成多数】

　賛成が多数ですね。ちょっと私の計算というか、見込みが違いました。

今日の授業のシナリオは、反対多数になるだろうと予想して作ってきました。

このクラスの皆の考え方は、多少の無理をしてでも皆と同じ金額を払うんだという考えを持っている人が多いと思います。皆さんは、平等、応分の負担をするという意識が高いと言えます。

結果は、賛成が多数でしたが、　　名と多くの人が反対しています

5人みんなが100万ずつというやり方は、正真正銘、平等な方法ですが　　　名中　　　名も反対が出たのはなぜが。

皆さんが実際に出した数字で考えてみましょう

島民５人のどの人の賛成が多いか、また、少ないのか確認してみます。

　　　S　　　人　　　　　　O　　　人　　　　　　Z　　　人　　　　　　E　　　　人　　　　　　　I　　　　人

賛成が一番多いのはEさん？ですが、少ないのは　さん？

＊Oさん、借金5000万もある。

＊Iさん、年金（１００）暮らしで預金も少ない（２００）

＊Zさん、年収（２００）が少ない

１００万出したいけど、現実問題として出せないという事情があるという考え方だと思います。

現実の世の中も同じです。分かっているけど理由があって払えない人がいる。

一方で、Sさんは、なぜ反対？

＊Sさん、リッチです。もっと払うよという逆の意味の反対

Eさんは賛成が多いのは？

　　　　　＊Eさんは、所得が平均的なので、賛成が多い

「割り勘」の方法は、平均的な人からは支持を得やすく、それ以外は支持が得にくい　といえます。

という事で「割り勘」というやり方は、平等なんですが、必ずしも､全員から支持されないという事が　分りました。

ここまでの学習で、色々な事情の人が色々な考え方になることが分りました。

次に、島民の会費の負担の仕方について、皆が出した金額を基に、深掘りしてみましょう。

一列の5人が島民とします。合計額が出ていますが

必要なお金500万に足りていないグループ（と足りているグループ）があります。

　　　**予算が足りないグループは**、このままだと、島のサービスは無くなってしまいます。

例えば、このグループ（0円がある、高額がないグループ）で考えて見ましょう

　　　　○万円足りません。どうしたら良いですか？**・・・・・・・足りないグループが無い場合は★へ進む**

サービスが無くなると、島の魅力がなくなります。島から人が出ていくかも分りません。

１人出ていったら、４人で５００万負担になります。

４人出ていったら１人で５００万の負担になってしまいます。

なので、何とか500万円に足りるよう集めたいです　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　28

どういう人に、多めに払ってもらえば良いか？

■スライドを見てください。島民５人の所得と資産の状態を表にしてみました。所得や資産などの保有状況を見て、誰の何を理由に払ってもらえば良いか？

**次に「皆の出した黒板の数字を見てみましょう」**

**一番リッチなSさんの平均額**は、　　　万円と100万円を超えています。

「多めに出すよ」といっています。

**平均額が一番少ないのが　　さんの**、　　万円ですが、ゼロではありません。払うという意思があります。サービスを受けるんだから、少しは払わないと成り立たない。

* **平均額が９０万以下の場合は省略**

**皆の出した答えの総平均**が　　万円です。

皆が払うと決めた金額の平均値なので、平均　　　万円は払う意思があるということになります。

ということは、上手に払う基準をつくれば、平均　　　万円までは、不満なく払ってもらえる。　ということが言えます。

　こういう状況で、誰かにどうゆう理由で払ってもらうかを考えてください。

「○さんに○○があるから」とシンプルに発言してもらうと嬉しい

　　　今、皆さんには、税金の専門用語で言うと、「担税力」を考えてもらっています。

　　　税金を払う能力のことを担税力と言います。

　　　島の誰のどういうとことに注目して払って貰うか

　　＊所得がたくさんの人はたくさん出す。所得税・法人税

　　　＊資産がたくさんの人はたくさん出す。固定資産税

　　　＊高価な物を買えるお金がある人はたくさん出す。消費税

　　　＊資産が増えた人はたくさん出す。相続税

**★　足りないグループが無い場合**

このクラスの皆の書いた納付金額は、予定より多い、１００万以上払う人が多い。

共通の経費を周りの人より多く出すという考えを持つ人が多い。すごいですね。

　　おかげで、合計500万に足りないグループを例にして、足りない部分を誰からどうゆう理由で払ってもらうか考えてもらうシナリオが崩れました。

　　なので、担税力・・・税を納付する能力　について、私の方から説明をします。

　　　この表を使って、実際にある日本の税、所得税、固定資産税、消費税、相続税の4つの税の考え

方について、お話しします。

　　■まず、所得に注目します、Ｓさんが3700万円と一番多いですが。

　　　ＳからＩさんまで5人の所得を合計すると5000万円、になります。

なので、みんなの所得の10％ずつを払ってもらうと500万円集まります。■これが所得税の考え方

　■次は不動産に注目します、不動産はＳさんとＩさんが持っていますが、不動産の何％か払ってもらう。という考え方。これが■固定資産税の考え方

　■次は、船の購入に注目します、Ｅさんは、5000万円の船、クルーザーを買っています。

そんな買い物をする余裕があるならその分払ってもらう、■これが消費税の考え方　　　34

■次は絵画の相続に注目、Ｚさんは、高価な絵画を相続した、財産が増えたんだから、その分払ってもらう、これが■相続税の考え方になります。

　　■「例えば」という事で私がSOZEI島の税法・税率を決めてみました。

ここはスライドを見てください

所得税5％、固定資産税2％、消費税2％、相続税5％としました。

計算方法は、省略して、計算結果のみを説明します。

　　　Sさんは、265万円、Oさん15万円、Zさん60万円、Eさん135万円、Iさん25万円になりました。どうでしょうか、

少なくとも５人とも１００万円ずつの「割り勘」の方法は確かに平等だけど、色々な理由を見つけて種類を増やしたほうが納得してもらえると思います。

社会に出ると、こういった様々な意見があるときに「折り合いをつける」　といった言葉があります。

自分の都合ばかり言わずに、お互いに譲り合って物事を決めるというイメージです。

　　　　リッチな人も、そうでない人も色々な担税力をみつけて、それらの多くの種類を理由にして払ってもらうと、不満が少ないと言えます。

この事を税に代えて説明します。

1種類の税だけで集めると、それが平等な税であっても、多くの人が公平と感じるのは難しい。

なので、色々な人の担税力を見つけて、複数の税を組み合わせたほうが公平感がある。

　 平等と公平は少し意味が違うんですね、割り勘は平等だけど、皆が公平と感じないんです。

こういった考え方で、日本や世界のほとんどの国の税は、多様な人から色々な理由で集める工夫がされています。

日本の税は何種類？

■日本の税の種類は約５０種類もあります。

　　今、説明した4つの税の他に、法人税、贈与税など、色々あります。

森林環境税、宮島訪問税は、新税になります。

では、実際にどういう税をいくら集めているかを学習します。

日本の財政の勉強です。

■国の収入のことを歳入といいますが、令和6年の歳入は113兆円です。

この、莫大なお金をどうやって集めているのか、グラフを見てください。

　　　消費税が24兆円、所得税が18兆円、法人税が17兆円、その他の税が11兆円で、税収を合計すると約70兆円になります。

　　　税収の他に国有財産の売却などの税外収入が8兆円ありますが、足りないので、国債で36兆円をまかなっています。

この国債は、国の新たな借金になります。

本来は、税収と税外収入を合わせた78兆円の予算でやりくりすべきなのですが、

税収が足りないので新たな借金となる国債を35兆円発行して113兆円の予算を確保していす。

収入の約３分の１が借金という非常に苦しい状況です。

ところで、113兆円ってどの位の金額でしょう？

　　　イメージできますか？　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　38

1兆円って、1万円の何倍？・・・1億倍

1億は1万の何倍？・・・1万倍

そうすると113兆円は、どのくらい？・・・よく分かんないですね。

では、１13兆円を日本の人口、1億2385万人で割ると、国民1人当たり、91万円になります。

逆に考えて見ると、**91万円の1億2385万倍が国の予算になります。**

**税収は全部で70兆円ですから、これを人口で割ると約57万円になります。**

**1年で1人当たり57万円も、国に税金を払っています。すごい金額です。**

■次に、国の支出の事を歳出といいますが

令和5年度の国の歳出の総額も113兆円です

こんな莫大なお金を国は一体何に使っているのか、気になりますよね（気にして欲しい）

皆が頑張って払った税金の使い道、歳出の内訳を見てみましょう

一番多いのが社会保障の38兆円、

次に多いのが国債費２7兆円、国の借金を国債といいますが、国債費は国債という借金を返す費用、その返済が27兆円で、3番目が地方交付税の18兆円となっています。

■まず、38兆円と一番多い社会保障という言葉の意味ですが、

私たちの長い人生には、色々なリスクがあります。

■病気になるかも分りません。交通事故で障害者になるかも分かりません、失業して突然収入が無くなるかも分かりません。何が起きるか分りません。また、子育てや老後の生活費、あるいは介護費用のお金に困るかも分りません。

　人生のリスクというか、万が一そうなった時の備えを、社会全体で助け合い、支え合う仕組みを「社会保障」と言います。

　その社会保障費３8兆円の内訳は、

　■年金に13兆円、■医療費に12兆円、■介護費用に4兆円、■生活保護に4兆円、

■子育て対策に3兆円　となっています。

　次に大きな歳出は先ほど説明した国債費27兆円で、

■3番目が地方交付税で■18兆円です。

この地方交付税は、市町村が提供する公共サービスについて、日本のどこに住んでいても　一定のサービスが受けられるよう必要な費用を国から地方に配分するものです。

　　　18兆円の主な使い道は、

■警察署に3．3兆円（犯罪や交通事故から人々を守ります。）

■ゴミ処理に2.5兆円（町をきれいにするための費用です。）

■消防署に2兆円（火事から人々を守り、救急車を出動します）

■4番目に多い歳出は、防衛関係で8兆円、（戦争や災害が起きたときに国民を守ります）

次が、公共事業に6兆円、（道路、ダム、橋などを整備し、暮らしやすい環境を整えます）

教育費に4兆円、（学校や体育館の建設、教科書や椅子・机などの備品の購入に使います）

科学技術に1兆４千億円、（食糧安定のために1兆３千億円　となっています。）

　今、教育費に4兆円と説明しましたが、皆さんが今まで通った小学校、中学校、生徒一人当たり1年間でいくらの税が使われていたかですが、■小学生で98万円、中学生で114万になります。中学生1人１年間で114万円です。3年間で352万円、

小学生は年間98万円、6年間で約600万円　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　42

税金がなかったら、毎月約１０万円の月謝を払わないと学校に通えないという計算になります。

　ここまで、皆さんどうでしょう、税は必要ですか？

　税の使い道間違っていませんか？

　社会保障費、皆さんの教育費、ゴミ処理、自衛隊、警察、消防、防衛費　みな必要と思いますか

　税の無駄使いはないですか？

　　そういった事を考えていただきたい。

　　ここまで、税の集め方や使い道を勉強しましたが、それって、誰が決めますか？

 国会議員ですよね。

　■ここで、政党選びをしてもらいます。

　　減税党とサービス党の2つの党員が立候補しています。

　　減税党の政策は、その名の通り、減税します。国民負担を減らします。

消費税を廃止してくれるので、使えるお金が増えます。いいですね。

24兆円の減税です。すごい額ですね。

　　でも、税収が減るので、　小学校から大学までの、すべての学校が有料になります。

　　医療費も自己負担なので、倍とかになる。子育て支援はありません。年金も減額です

　　もう一つはサービス党です。

　　行政サービスを充実し、住みやすい国にします。これも良いですね。

　　但し、消費税が倍の20％になり、使えるお金が減りますが、その代わりに行政サービスを充実します

小学校から大学までの、すべての学校が無料になります。

　　医療費が無料になりますし、出産費や子育て支援も十分にします。年金も増額します。

さあ、どっちを選びますか？

　　手を挙げてもらいます。

減税党は減税するので予算が少ないので、できることが限られ、小さな政府になります

　　充実党は、多くの税を集めますが、しっかりサービスはする大きな政府です。

　　減税党の人・・・？

　　充実党の人・・・？

　　ちょっと、政党の公約が極端な設定になっていますが

　　こういうイメージで、選挙になります。候補者は、どうゆう世の中にする　という公約があります。

　　その公約が自分の考えに近い人を選び、選んだ人が国会で公約を実現できたら

　　結果的に、税金の集め方や使い道は国民が決めることになります。

　　この事を「国民主権」といいます。（ワークシートに書いています。）

最後のまとめです

　■魅力のある　住みやすい日本になるために、

皆のために、みんなが出し合った税が　真に必要な事に、大切に使われているか

しっかりと確かめましょう。

そして、正しい申告と納税ができる社会人になってください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　４7

新税（時間があるので、おまけ）

◎宮島訪問税（R５.１０導入）　知ってる人？　宮島に行った人気付いた？

増加する外国人観光客に対応するための環境整備のため、

ゴミ処理、トイレの増設、外国語の看板・案内板、港のターミナルの整備や警備、電柱の地中化

フェリー代に１００円上乗せ・・・年間4億円の税収

◎森林環境税（R6導入）　知ってる人？

　森林の整備をすることで、地球温暖化対策、土砂災害対策、水源の維持

＊住民税均等割に1000円上乗せ徴収　（国税、全額地方譲与）

　　　６年度の住民税から・・・帰ったら親に聞いてみて

◎宿泊税（R8．4導入予定）　聞いたことがある人？

 　広島県は、5月17日に、1泊200円の宿泊税の導入を目指すと発表した。

　　多くの観光客の来訪による、地元の自然環境、生活環境、観光振興の財源　23億見込み

　東京、大阪、京都、福岡、金沢は導入済。修学旅行は免除の予定

　　◎入湯税（目的税）

　　　温泉などに入る際に徴収される地方税（日帰り温泉も課税）

　　　温泉旅館、ホテル、スーパー銭湯、健康センター

　　　　＊湯来温泉、ほの湯

　　　標準税額　150円・・・市町村ごとに変更可能

　　　　⒓歳未満、修学旅行、日常の共同浴場は免除

　　質問タイム